

Istanbul Weekly vol.8-no.21

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2019年7月12日（金）

— 今週のポイント —

政治：大阪にて G20 開催。

ババジャン元副首相が AKP から離党。

経済：6月の消費者物価指数(CPI)上昇率、対前年同月比 15.7%。

チェティンカヤ中央銀行総裁解任、後任にはウイサル同行副総裁。

治安：ハタイ県で車両爆発。

社会：約 1,600 万人がイスタンブール空港を利用。

トルコの 0-5 歳児の数、ヨーロッパで最多。

政治

【内政】

●イスタンブール市の人事異動

(1)6月28日、イマムオール・イスタンブール市長就任後、ハイリー・バラチュル・イスタンブール市事務局長と次長7名、アリ・カラアスラン法務顧問が辞職。これに伴い、7月5日、イスタンブール市事務局長にヤヴズ・エルクト・トルコ石油精製株式会社(TÜPRAS)元社長、事務次長にメフメト・チャクルジュオール氏、市長顧問にムラト・オングン氏、イイト・ドゥマン氏、エルタン・ユルドゥズ氏、秘書官長にヤヴズ・セルタク氏、首席法務顧問にエレン・ソンメズ氏、IT顧問にエロス・オズギュネル氏がそれぞれ任命された。(6月29日付けM紙14面及び7月6日付けM紙13面)



(写真は、7月6日付けC紙インターネット版から)

(2)イマムオール市長の再選までの51日間、暫定市長を務めていたアリ・イェルリカヤ県知事の任期中に、33億トルコリラの負債、17億トルコリラの支出、2,500人の新規採用があったと報じられた。これに対し、イェルリカヤ県知事は新たな借款契約は結ばれておらず、必要に応じた雇用を行ったと反論している。(7月7日付けソズジュ紙インターネット版ほか)

(3)7月8日、高等選挙委員会がイスタンブール市長再選挙の最終確定結果を発表した。イマムオール市長は 54.22 ポイント(474万2,082票)、ビナリ・ユルドゥルム候補は 45 ポイント(393

万 6,068 票)を獲得し、両候補の得票は 9.22 ポイント差(80 万 6,014 票差)であることが確定した。(7月11日付けAAインターネット版)

●CHPが党議会会議にて地方選挙を評価

CHP 党議会会議は、3月31日及び6月23日の地方選挙を評価し、3月の選挙でユルドゥルム候補(AKP)に投票された22万人の票と他候補に投票された15万4,000の票が6月の選挙でイマムオール候補に流れたと分析。オズトラク CHP 報道官は、「2014年以降国民の期待は変化している。2014年の選挙でCHPが勝利した6つの都市の人口はトルコ全体の12%だったが、今回の選挙では11都市で勝利し、全人口の45%となった。これらの都市は、国家収入の59%を生産している。責任は重大だ。」と述べた。(7月5日付けビルギュン紙インターネット版)

●エルドアン大統領、57 議員と朝食会、イスタンブール市内 24 区区長と会談

7月6日、エルドアン大統領は、4時間にわたり、イスタンブール、ブルサ、コジャエリ、サカルヤ、テキルダー、クルクラーレリ、ヤロヴァ、チャナツカレ、ドゥズジェ各県選出の57人の議員と朝食会を行なった。また、同日午後には、3月31日の地方選挙で選出された24人のイスタンブール各区長と、2時間半にわたる会談を行った。(7月7日H紙16面)

●カフタンジュオール CHP イスタンブール県支部長のツイッター裁判

カフタンジュオール CHP イスタンブール県支部長が過去の SNS への投稿を理由に 5 件の罪で 17 年の懲役を求刑されている問題で、6月28日に公判が開かれた。同支部長は「問題のツイッターは 6、7 年前のもので、イスタンブール地方選挙の関係で忙しく、十分な裁判準備ができていない。」と延期を求め、第2回公判は7月18日に開かれる。タンルクル CHP 議員は「カフタンジュオール氏が県支部長に選出された2日後に捜査が開始され、1年間放置されていたにも拘わらず、3月31日の地方選挙の終了直後の5月27日に、裁判になることが決

まった。」とコメントした。公判には CHP 関係者のほか、著名なピアニストのファズル・サイ氏の姿も見られた。(6月29日付けC紙9面)



(写真は、6月29日付けC紙インターネット版から)

●アンカラ検察主席検事:アリ・ババジャン元副首相に対するFETÖ 嫌疑否定

新党結成の準備を行っていると思われるババジャン元副首相が、かつて FETÖ 関係者に主要ポストを斡旋していたと元財務相関係者が証言している問題で、アンカラ検察共和国首席検事が捜査は行われないと述べた。(7月7日付けC紙5面)

●ババジャン元副首相がAKPから離党

7月8日、ババジャン元副首相は AKP 党本部へ離党届けを提出した。近年の様々な分野の政策と、自身の信念・価値観に相違が生じ、理性と感情の両方で乖離を感じたこと、世界の急速な変化により、トルコの現在と未来のために新しい働きを開始せざるを得ない局面に来ていること、また人権・自由・民主主義・法の支配はなくてはならない原則であること等を表明した。(7月9日付けC紙5面)

【外交】

●大阪にて G20 開催

G20 大阪サミット首脳会議に際して、6月28日、エルドアン大統領は、マルパス世界銀行総裁、サンチェス・スペイン首相、マカロン仏大統領とそれぞれ会談した。29日にはプーチン・ロシア大統領と1時間の会談を行い、S-400 納入計画に遅れがないことを確認した。メルケル独首相、モディ・インド首相、ウイド・インドネシア大統領、トランプ米大統領、メイ英国首相、グテーレス国連事務総長と2日間で合計12の会談を行った。(6月29日付けH紙インターネット版)

●G20:米土首脳会談

(1)6月29日、エルドアン大統領がトランプ大統領と約35分の会談を行った。会談後の会見でエルドアン大統領は、「(S-400 購入問題に関連して、米国からの)報復はないとトランプ大統領本人から聞いた。両国の戦略的パートナー関係から(報復は)問題ではない。」「S-400 の他にロッキードからボーイング100機を購入するが、これも自由経済世界において相互干渉はないという例の一つ。S-400 の納入は7月前半と聞いている。」と発言した。また、エルドアン大統領は、30日にも発言し、「S-400 一台はパトリオット3台分の価値であるが、米国が提示するパトリオット・ミサイル・システムに関する条件がS-400 と対等であるなら、パトリオットを購入する。」と述べた。
(2)米大統領府は、米トルコ首脳会談について、「会談でトランプ大統領はトルコのロシアからの S-400 購入について懸念を表明した。トルコには NATO 同盟を強化する防衛関係に向けた米国との協力を求めた。」と書面で発表した。(6月30日付けM紙10面及び11面等)



(写真は、6月29日付けM紙インターネット版から)

●G20関連:その他の行事

(1)世界経済フォーラム(WEF)で「グローバル・スマートシティ・アライアンス」が合意され、トルコもスマートシティを推進していくことを承認。(6月29日付けM紙10面)
(2)エミネ・エルドアン大統領夫人が海洋ごみに関するセッションに参加し、「汚染による脅威に対し、正しい歩みができれば2050年にごみではなく魚が泳ぐ海となる。私もトルコでごみゼロキャンペーンを開始し、当面の目標はごみを資源ごとに分別しリサイクルを進めること。公的機関にごみゼロシステムを導入した。」と発言。(6月30日付けM紙11面)



(写真は、6月29日付けH紙インターネット版から)

(3)6月30日、京都・東福寺にて「アラ・ギュレル写真展」の開幕式が開かれ、エルドアン大統領夫妻、彬子女王殿下がテープカットを行った。画家のパブロ・ピカソ、サルバドール・ダリ等のポートレートやイスタンブールの風景写真約60点が展示された。アラ・ギュレルはドイツからマスター・オブ・ライカの称号やフランスから勲章を授与される等国際的にも著名な写真家で昨年他界した。(6月28日M紙4面、7月1日H紙11面ほか)
(4)6月30日、エルドアン大統領は、在日トルコ国民向けに、愛知県名古屋市内でスピーチを行い、フェトフッラー・ギュレン派の学校や団体が活動を継続していることを非難し、名古屋にトルコ領事館を開設する意向であること、社会保障協定が協議中であること等について述べた。(7月1日H紙インターネット版)

●デヴィット・サターフィールド氏が駐トルコ米国大使として上院から承認

新米国大使は、80年代から中東に関わり、レバノン、シリア、チュニジア、サウジアラビアの米国大使館を始め、中東諸国に勤務した中東の専門家で、ブッシュ政権時にはライス外務大臣のイラク担当首席顧問を務めた。ロシア、トルコ、イランの3か国がシリア情勢を協議するアスタナ会合では米国のオブザーバーとして参加。2017年10月にジョン・バス前トルコ大使が離任後、駐トルコ米国大使は21か月空席となっていた。(6月29日H紙10面及びC紙7面)

●中土首脳会談

7月2日、エルドアン大統領は北京を訪問し、習国家主席と会談した。エルドアン大統領は「両国間の関係をあらゆる分野で長期的・戦略的観点から強固にしていくことに合意した。トルコは『一つの中国』政策を支持する。両国の関係強化は地域の

平和と繁栄にとって重要な意義がある。」と発言した。また「ウイグル系トルコ人」について、「ウイグル自治区における同胞が中国の分離できない一部分として平和、平安で自由に生きることを望んでおり、このために中国政府との協力を続けていく。」と述べた。(7月3日H紙11面ほか)

●トルコ政府、国連とYPGの合意文書署名に抗議

6月29日、子ども戦闘員の解放について、国連が、テロ組織 YPG/PKK と関連があるとされる「シリア民主軍」との間で行動計画に合意し、公式式典にておいて文書に署名したことに対し、トルコ外務省は口上書をもって抗議した。国連の報告書によれば、テロ組織 YPG は、2016 年に 46 人の子ども戦闘員を抱えていたが、その数は 2017 年におよそ 5 倍増えて 224 人に達している。(7月3日M紙11面ほか)

●東地中海大陸棚掘削への批判に対しトルコ外務省が声明

7月10日、トルコ外務省は東地中海大陸棚への掘削船派遣に対して批判的の発言を行っている米国、エジプト、フランス、ギリシャ等を非難する声明を発表した。トルコは5月に派遣した掘削船ファティフに続き、掘削船ヤヴズを派遣している。(7月11日M紙15面)

経済

【マクロ経済】

●5月の貿易赤字、対前年同月比 76.5%減の 18.4 億米ドル

6月28日、トルコ統計庁(TUIK)は、5月の貿易赤字は対前年同月比 76.5%減の 18.4 億米ドルと発表。輸出は同 12.1%増の 160 億米ドル弱、輸入は同 19.3%減の 178 億米ドル。輸出の輸入に対するカバー率は前年同月の 64.6%から上昇し、89.7%に達した。輸出先国は、ドイツが首位(9.2%)、次いでイタリア、イギリス、米国だった。輸入元国は、ロシアが首位(19 億米ドル)、次いで中国(16 億米ドル)、ドイツ(16 億米ドル)、米国(10 億米ドル)だった。(6月28日付け HDN 紙インターネット版)

●6月の消費者物価指数(CPI)上昇率、対前年同月比 15.7%

(1) 6月28日、トルコ統計庁(TUIK)は、6月の消費者物価指数上昇率が対前年同月比 15.7%と発表。5月の同 18.71%から低下し、昨年6月以来最も低い水準となった。同期間に最も価格が上昇したのは、雑貨・サービス類の 26.88%、次いで家具調度類が 22.51%、宿泊・外食費が 20.84%、アルコール飲料及びタバコが 19.24%、食品及び非アルコール飲料が 19.20%だった。(7月4日付け HDN 紙9面)

(2) 発表を受け、エコノミストのビュリュムジェクチ氏は、7月25日に予定される中銀の金融政策委員会において、政策金利が 100bp 切り下げられる可能性を指摘。一方で、ウシュク QNB フィナンスバンク主席エコノミストは、電気やガソリン代の値上げ、特別消費税割引の終了等により7月の CPI 上昇率は 17%前後となると予測。(7月4日付け C 紙11面ほか)

(3) 6月の CPI 上昇率の発表後、公務員の給与及び年金の値上げも明らかにされた。公務員団体交渉の結果、7月15日付けで 5%の昇給が決定された。(7月4日付け C 紙11面)

【代表的職種の公務員俸給一覧(単位:トルコリラ)】

職種(級/号)	2019年1月	2019年7月
局長(1/4)	11,690	12,393
公務員(4大卒 9/1)	3,786	4,014
教師(1/4)	4,737	5,022
郡長(1級、1/4)	10,722	11,366
警察官(8/1)	5,375	5,698
専門医(1/4)	7,308	7,747
看護師(4大卒、5/1)	4,595	4,871
技官(1/4)	6,274	6,651
大学教授(1/4)	10,100	10,707
説教師(1/4)	4,924	5,220
弁護士	5,990	6,350
公務員最低俸給	3,512	3,723
公務員年金受給者	2,379	2,522

(表は、7月4日付け C 紙11面を基に当館編集)

【金融】

●財務省、7月から9月にかけて 90 億米ドルの債務返済

財務省の発表によれば、同省は7月から9月の期間において 514 億トルコリラ(約 90 億米ドル)の債務を返済する予定で、うち 113 億トルコリラは対外債務、72 億トルコリラは利子の支払い。残りの 401 億トルコリラの対内債務償還のうち、55%は利子の支払い。また、同省によれば、同期間に、14 件の国債入札とスクーク(イスラム債)の直接販売により 365 億トルコリラの借入れを予定。(7月1日付け HDN 紙9面)

●3月末の対外債務、計 4,534 億米ドル

6月28日、財務省は対外債務に関するデータを発表。3月末時点で総対外債務残高が 4,534 億米ドル、純対外債務残高(総債務残高から政府所有の金融資産を除いたもの)は 2,773 億米ドルであった。総対外債務残高の対 GDP 比は 60.6%、純対外債務残高の対 GDP 比は 37.1%。(6月28日付け Bloomberg)

●チェティンカヤ中央銀行総裁解任、後任にはウイサル同行副総裁

(1) 7月6日、2020年までの任期が予定されていたトルコ中央銀行のムラット・チェティンカヤ総裁が解任され、ムラット・ウイサル副総裁が中銀総裁に就任することが官報で発表された。解任理由について公式には言及がないものの、6月の金融政策委員会でも 24%に据え置かれた政策金利を巡り、エルドアン大統領が不満を募らせていたための人事とみられる。(7月6日付け HDN 紙インターネット版)

(2) 7月9日、エルドアン大統領は、同総裁の解任について、同総裁が自己判断に基づき高金利政策を維持させていたことでトルコ経済に物価高という負担を強いていたための決定であると発言した。(7月10日付け DS 紙インターネット版)

【経済外交】

●G20 大阪サミット:エルドアン大統領「日本の投資を歓迎」

(1) 大阪で開催された G20 サミットにおいて安倍首相と会談したエルドアン大統領は、トルコ経済に貢献するトルコの日本企業に感謝するとともに、2019年末までに妥結が期待される日トルコ EPA の実現により、二国間の貿易バランスが改善されることへの期待に言及。日本の工業製品の自由なトルコ市場へのアクセスを歓迎する一方で、トルコの農産品の輸入障壁の改善を訴えた。また、トルコのエネルギー関連プロジェクトや鉱業部門での日本企業の更なる活躍を期待していると述べた。

(7月1日付けDS紙ほか)

(2) 経団連とトルコ海外経済評議会(DEIK)による大統領を囲む懇談会では、カリヨン・ホールディングが伊藤忠及び東芝と水力発電所事業に関する協力契約を締結。同発電所はサカリヤ川に建設され、出力 1,400 メガワット規模を予定。(7月1日付けH紙ほか)



(写真は、7月1日付けAAから)

【自動車】

●2019 年上半期の国内自動車市場、対前年同期比 45%縮小
自動車販売業者協会(ODD)7月2日付けの発表によれば、2019 年上半期の乗用車及び軽商用車の販売は対前年比 44.7%減の 19 万 5,144 台に留まった。なお、乗用車購入の減税キャンペーンは 6 月末に終了。(7月3日付け SOZCU 紙 8 面)

【物価上昇】

●7月1日付けで電気料金が 14.98%値上げ

(1) 6月27日、エネルギー市場規制庁(EPDK)は、電気料金を7月1日付けで 14.98%値上げする決定を発表した。国営・民間の発電事業者の原料値上がり分を消費者に負担させる。(6月27日付け HT 紙インターネット版)

(2) 国営石油パイプライン会社(BOTAS)は、発電事業者に対する天然ガス料金の販売価格を7月1日付けで 6.5%値上げしたことが報道された。(6月29日付け REUTERS)

●タバコとアルコール飲料に対する特別消費税、引上げ

タバコとアルコール飲料に対する特別消費税が引き上げられた。タバコは 1 箱当たり 50 クルシュ、50cl のビールは 42 クルシュ、70cl のラウは 7.27 トルコリラ、70cl ワインは 58 クルシュ値上げされる。値上げは 7 月 3 日から有効となる。(7月3日付け HT 紙インターネット版)

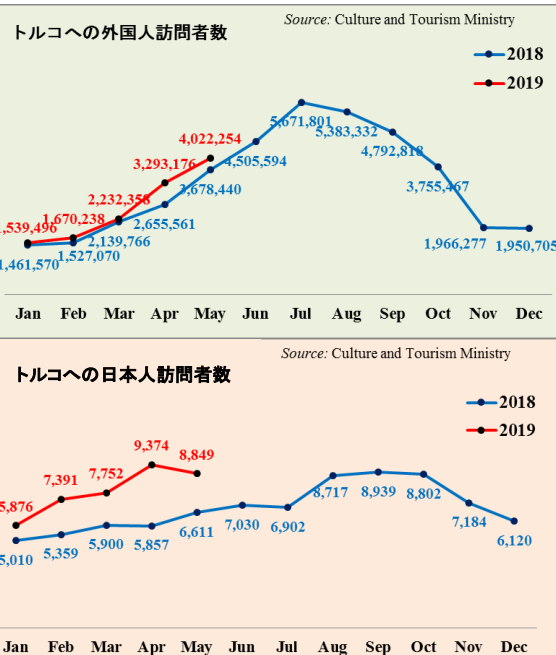
●リラ建てクレジットカード支払い利子に割引措置

トルコ中央銀行は、7月1日付けで、クレジットカードの支払いに適用される月利上限を 2.15%から 2%に引き下げることを発表。外貨建て支払いの月利上限は 1.72%から 1.6%に引き下げられる。また、トルコリラ建ての遅延損害金(月利)は 2.65%から 2.4%へ、外貨建てでは 2.22%から 2%へ引き下げられる。(6月29日付け Bloomberg)

【観光】

●1月から5月までの外国人訪問者数、対前年同期比 11%増

6月28日、文化観光省は、2019 年 1 月から 5 月までの外国人訪問者数が対前年同期比 11.3%増の約 1,280 万人となったと発表。訪問先都市首位となったイスタンブールへの同期間の訪問者数は 540 万人で、2 位のアンタルヤは 310 万人だった。訪問者の国籍別内訳を見ると、1 位がロシア人の 180 万人(13.1%)、2 位がドイツ人(120 万人)、3 位がブルガリア人(98 万人)だった。(6月29日付け DS 紙インターネット版)



●トルコの植毛産業、10 億米ドル以上の規模に

トルコ海外経済委員会(DEIK)のテルズイレル医療委員会委員は、トルコにおける植毛サービスは高水準の技術を有し、コストパフォーマンスに優れていると発言。トルコの医療ツーリズム分野は順調に成長し、植毛サービス業は 10 億米ドル以上の産業に成長。同委員は、本サービスの利用者は、以前はアラブ人が多かったが、過去 3 年でアラブ人の 4、5 倍のヨーロッパ人が利用していると述べた。(6月29日付け HT 紙インターネット版)

【企業等の動向】

●アダナの石油化学プラント・プロジェクト、日本や韓国から合弁オファー

2015 年からエルデムオール・ホールディング傘下となったトルコのポリエステル製造大手ササ社は、アダナのユムルタルク郡において、2031 年までに 118 億米ドルを投じて石油化学プラント工場を建設し、稼働させる予定であることを発表。この事業は、5 つの子会社を新規に設立して運営。現在までに外国企業 2 社から共同運営、5 社から出資オファーを受けており、その内訳は日本企業が 3 社、韓国企業が 2 社、クウェート企業が 1 社、ヨーロッパ企業が 1 社であることを明らかにした。(7月10日付け H 紙インターネット版)

治安

●麻薬使用者への調査

6月28日、内務省は、麻薬使用により逮捕された約 6,000 名を対象とした調査結果を発表した。これによれば、薬物を使用した始めた年齢の平均は 18 歳で、理由としては「友人に勧められて好奇心から」使用した 33%が最多であった。また、67%以上が両親と同居しており、約半数はDVの経験もなく、これまでの薬物使用の動機に対しての印象とは異なるものである。(6月28日付け S 紙インターネット版)

●イスタンブールでタクシー詐欺の摘発

6月28日、イスタンブール警察はタクシム広場やブルーモスク周辺において、観光客に対して乗車賃の過剰請求を行っていた

たとして、タクシー運転手 19 名を逮捕した。これまで当局は、被害の報告などに基づいて捜査を進めており、既にタクシー運転手 38 名の免許を取り消していた。(6 月 29 日付け S 紙インターネット版)

●同性愛団体の抗議活動に対し催涙ガスを発射

6 月 30 日、同性愛者団体や活動家がイスティクル通りやタクシム広場周辺において、プライドパレードが禁止されたことに対し抗議活動を実施。警察は催涙ガス弾を使用し群衆を解散させた。(7 月 1 日付け HDN 紙インターネット版)

●イスタンブール財産犯減少傾向、薬物関連は急増

7 月 2 日、チャタクル・トルコ内務副大臣は、イスタンブールでは、今年上半年の犯罪統計が前年同期比で改善していると発表。1 日の平均犯罪発生件数が 57 件から 42 件に減少。また、強盗などの財産犯は 9%、そのうちでも自動車窃盗は 39%減少している。一方で、薬物に関しては今年上半年に約 12,400 名が逮捕され、コカインの押収量は 381%増加している。(7 月 3 日付け S 紙インターネット版)

●イスタンブールで違法臓器移植の計画

7 月 3 日、警察は、イスタンブールの私立病院への強制捜査で違法な臓器移植を計画していた容疑者 3 名を逮捕した。逮捕されたのは、トルコ人の医師、イスラエル人の患者、シリア人の臓器提供患者であり、二人を親戚として偽り金銭取引で臓器を提供しようとしていた。(7 月 4 日付け S 紙インターネット版)

●各地で FETO 関連一斉取り締まりオペレーション

7 月 3 日、FETO 関連容疑者への一斉取り締りが行われた。逮捕者には現役軍人や元兵士も含まれ、全体で 54 名。イスタンブールでは 29 名がテロリスト団体を支援した容疑で逮捕された。(7 月 4 日付け S 紙インターネット版)

●ハタイ県で車両爆発

7 月 5 日、ハタイ県(トルコ南部)において車両爆発により 3 名のシリア人が死亡した。エルドアン大統領はテロ組織との関連の可能性もあり調査中との声明を発表。7 日には 16 名が逮捕されており、ISIL との関連が疑われている。(7 月 5 日付け S 紙インターネット版)



(写真は、7 月 5 日付け S 紙インターネット版から)

●メルスィン県で密造偽造酒により 8 名死亡

7 月 1 日、メルスィン県において、偽造酒による「メチルアルコール中毒」のため 21 名が病院に搬送され 5 名が死亡したと現地救急隊が発表した。その後さらに 3 名が死亡。メルスィン県では、密造偽造酒のアルコール中毒による救急搬送が多数発生しており、これに関連した違法醸造容疑などで、4 名の容疑者が逮捕されている。(7 月 9 日付け S 紙インターネット版)

●エディルネ県で不法移民者 430 名以上が逮捕

7 月 10 日、トルコ北西部エディルネ県においてジャンダルマによる 2 日間の一斉取り締りにより、430 名以上の不法移民者が逮捕された。容疑者らは違法に国境を越えてギリシャ及びブルガリアへ渡ろうとしていた。(7 月 11 日付け S 紙インターネット版)

●口笛言語、大学の選択科目に

ギレスン県のギレスン大学は、2017 年のユネスコ無形文化遺産に登録された口笛でコミュニケーションをとる「口笛言語」を観光学部を選択科目として導入する予定。ゲンチ同学部長は、「口笛言語はギレスン県のチャナクチュ地区で何世紀にもわたり使われてきた。鳥の言葉とされる同言語は 1956 年に初めて研究対象となり、今でも使用されている。」と述べた。(7 月 2 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、6 月 27 日付け HDN 紙インターネット版から)

●約 1,600 万人がイスタンブール空港を利用

イスタンブール空港は 4 月 6 日から 7 月 1 日まで 1,599 万人(国内線 400 万人、国際線 1,199 万人)の乗客にサービスを提供し、国内線と国際線を合わせて 10 万便が離発着した。また、6 月だけで 598 万人がイスタンブール空港を利用した(アタテュルク国際空港の前年同月比 7.4 パーセント増)。(7 月 3 日付け HDN 紙インターネット版)

●カッパドキアで熱気球フェスティバルが開催

7 月 3 日から 7 日まで、トルコ初となる熱気球フェスティバルがカッパドキアで開催された。期間中は 12 か国から参加した様々な形の約 150 機の気球が飛行した。アチックギョズ・ネフシェヒル県選出議員(AKP)は、「熱気球フェスティバルの後には映画祭の開催も予定している。」と述べた。(7 月 3 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、7 月 3 日付け HDN 紙インターネット版から)

●アリ・ギュルブズ、オイルレスリングを制する

7 月 7 日、エディルネ県で開催された第 658 回オイル・レスリング・フェスティバルでアリ・ギュルブズが優勝した。決勝では昨年の優勝者のオルハン・オクルと対戦し、延長戦にもつれ込んだが、50 分目にオクルがバランスを崩すとギュルブズが猛攻し勝利した。クルクブナル・オイル・レスリングはオリンピックに次ぐ世界で最も歴史の長いスポーツイベントで、1362 年以来、毎年開催されている。試合は最長 5 時間に及ぶことがある。(7 月 8 日付け HDN 紙インターネット版)

社会

※掲載内容は、トルコの報道をまとめたものです。



(写真は、7月8日付け HDN 紙インターネット版から)

●トルコの0-5歳児の数、ヨーロッパで最多

欧州委員会が発表した報告によれば、トルコの0歳から5歳児の人口は800万人でヨーロッパ諸国の中で最多。また、4歳から義務初等教育開始年齢までの子供の保育・教育率は、EU加盟国全体の平均が95.4%であるのに対し、トルコでは54.7%と北マケドニアの39.5%に次ぐ低い割合。(7月10日付け HDN 紙インターネット版)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSIAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Haberturk
D	Dünya	IA	Ihlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2019.1.1～2019.7.12 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2018年	0件	9件	0件	2件	0件	15件	0件	6件
2019年	0件	7件	0件	1件	1件	6件	0件	2件